

次代を担う子どもが健やかに生まれ、元気に育つための子育て支援策

「寄居町次世代育成支援対策行動計画(後期実施計画)」

後期5カ年計画の第3年次実施結果を報告します!

町では「寄居町次世代育成支援対策行動計画(後期実施計画)」に基づき、総合的かつ計画的な子育て支援策に取り組みました。今回は、平成24年度に実施した主な事業の概要をご紹介します。

1. 子育てしているすべての家庭のために

- ① 親子が気軽に相談、交流できる場の充実
 - 地域子育て支援センター事業の充実
 - 子育て家庭等に対する育児不安などについての相談・指導、地域の保育資源の情報提供など、地域の子育て家庭に対する育児支援を行いました。
 - 年間利用者 6,870人
 - 保育所の活用
 - 寄居保育所で、毎月第4土曜日に親子ふれあい広場を実施するとともに、私立保育園での保育所地域活動事業やミニ子育て支援センター事業を推進しました。
 - ② 子育て支援情報の充実
 - 子育て応援ブックの配布
 - 平成23年に作成した子育て応援ブック(A5版80ページ)を、出生・転入時に子育て支援課へ来た方に配布しました。また、町公式ホームページからも閲覧できるようにしています。
 - ③ 親と子の健康と福祉の充実
 - 妊婦・新生児訪問指導の充実
 - 訪問指導が必要な妊産婦に対し、出産に対する不安解消を図り疾病の予防や早期発見に努めました。新生児(出生時)全数訪問では、育児の不安解消と乳児の異常の早期発見に努めました。
 - 平成24年9月から「児童福祉法」に基づく「こんにちは赤ちゃん事業(乳児家庭全戸訪問事業)」を開始しました。
 - 対象 198人
 - 訪問 186人
 - 面接等 7人
 - 未把握(転出) 5人
 - 乳幼児健康診査の充実
 - 身体発育、精神発達などの障害を早期に発見するとともに、適切な保健・歯科指導を行いました。
 - 4〜5カ月児健康診査 年6回実施
 - 1歳6カ月児健康診査 年6回実施
 - 3歳児健康診査 年12回実施
 - ④ 要保護児童対策の推進
 - 児童虐待の防止
 - 虐待を未然に防止するため、広報誌に子どもの人権10番等を掲載し、PRを行いました。
 - 要保護児童対策地域協議会の設置
 - 要保護児童対策地域協議会における関係機関との連携により、組織的に対応し、虐待の早期発見・早期対応に努めました。
 - ⑤ 障害児施策の充実
 - 障害児通園事業の推進
 - 心身に障害のある児童に対し日常生活における基本動作の指導や、集団生活への適応訓練を行う施設へ通園する幼児の保護者への支援を行いました。
 - 利用者数 19人
 - ⑥ ひとり親家庭の支援の充実
 - ひとり親家庭福祉事業の充実
 - 母子および寡婦福祉資金制度やひとり親家庭就学援助制度の普及に努めました。
 - ⑦ 経済的支援の充実
 - こども医療費支給事業等の推進
 - 平成24年10月診療分から窓口払い廃止地域を拡大しました。
 - こども医療費支給件数 53,904件
 - ひとり親家庭等医療費支給件数 2,460件
 - 児童手当・児童扶養手当制度等の普及PR
 - 0歳から中学3年生までの保護者に支給しました。
 - 児童手当支給対象児童 3,992人
 - 児童扶養手当支給者 325人

2. 働きながら子育てしている家庭のために

- ① 子育てと仕事の両立の支援
 - 仕事と生活の調和の普及啓発
 - 男女共同参画講演会を実施し、普及啓発に取り組みました。
 - 12月13日「男女共同参画の地域づくりと男性」参加者 136人
 - ② 多様な保育ニーズに対応した保育サービスの充実
 - 低年齢保育の充実
 - 公立保育所で8人、私立保育園4園で39人の低年齢児保育を実施しました。
 - 延長保育の充実
 - 寄居保育所と私立保育園4園で延長保育を実施しました。
 - 利用者数 寄居保育所 延788人
 - こぶし保育園 延112人
 - ゆずの木保育園 延331人
 - いずみ保育園 延2,017人
 - 寄居のこキッズ保育園 延623人
 - 一時保育事業
 - 保護者の就労形態や疾病などにより、一時的に保育を必要とするお子さんに対し、保護者に代わり保育を実施しました。
 - 公立保育所 延94人
 - 寄居のこキッズ保育園 延54人
 - 保育所の整備
 - 城南保育所のテラスの屋根の貼替修繕、男衾保育所の児童用トイレを増設、用土・城南・男衾保育所のテラスのわたりの修繕を行い保育環境の向上・児童の安全を図りました。
 - ③ 放課後児童クラブの充実
 - 放課後児童保育施設の整備充実
 - 7カ所の学童クラブで、入所要件に適合する児童27人を受け入れました。

3. 次世代を育む親となるために

- ① 家庭教育に関する情報提供および学習の機会の充実
 - 各種講座・学級の開催
 - 小学生の保護者を対象に「すこやか子育て講座」、「家庭教育学級」、小・中学生の保護者を対象に、「進路・児童心理学等をテーマに「親学講演会」を開催しました。
 - ② 幼児教育・学校教育の充実
 - 教育に関する3つの達成目標の推進
 - 学力については「読み書き」で小学1・3・5年生、中学3年生までは目標値を達成し、「計算」では小学1〜6年生・中学3年生で目標値を達成しました。「規律ある態度」については全般的に目標値を達成しました。「体力」では、体力テストの小・中学校の総合得点が県内で第2位となりました。
 - ③ 食育の推進
 - 給食による食育の推進
 - 食育全体計画を作成し、望ましい食生活の基礎・基本と食習慣を身に付け、食事を通して自ら健康管理ができるよう努めました。
 - ④ 思春期保健対策の推進
 - 薬物乱用防止教室の実施
 - 喫煙・飲酒・薬物乱用による心身の健康への影響等を理解させるため、小・中学校で、専門家による薬物乱用防止教室を開催しました。

4. 子どもが健全に育つ町づくりのために

- ① 多様な体験プログラムの充実
 - ボランティア体験機会の充実・促進
 - ボランティア体験プログラム4項目を用意し、14人が体験しました。
 - ② 子どもの遊び場の充実
 - 児童館事業の充実
 - 幼児クラブや火・木曜どんぐり等、児童福祉月間事業(人形劇)を実施し、児童の健全育成を図りました。
 - ③ 子どもの人権の尊重
 - 子どもの権利侵害に対応する相談業務の充実
 - 子どもの権利擁護を意識してDV相談や心配ごと相談に対応しました。
 - ④ 子どもが健全に育つための環境整備
 - 青少年の健全育成
 - 子どもたちへの声かけ運動、街頭キャンペーン、子ども見守り活動等を地域ぐるみで実施しました。
 - ⑤ 子どもを犯罪から守るための取り組みの推進
 - 防犯灯の設置
 - 地区からの申請により防犯灯を68灯設置し、夜間の危険箇所の解消を図りました。
 - 「子ども10番の家」の普及促進
 - 小学校の通学路に面した家々を中心に協力を呼びかけ、子ども10番の家について普及促進を図りました。
 - ⑥ 交通安全対策の推進
 - 交通安全教育の推進
 - 交通安全教育を保育所(園)、小・中学校で開催しました。教職員および保護者・安全ボランティアによる登校時の交通安全指導を行いました。
 - ⑦ 子育てを支援する生活環境の整備
 - 勤労者住宅資金利用の促進
 - 住宅の新築、増改築および購入ならびに住宅の取得のため、勤労者住宅資金の貸付制度について町公式ホームページ

寄居町次世代育成支援対策行動計画

(平成22年度から26年度までの5カ年計画)

子育て支援サービスなどの目標事業量を設定し、具体的な取り組みを推進しています。平成24年度の実績・評価については、次のとおりです。

事業名	指標	平成26年度目標事業量	平成24年度実績事業量	平成24年度評価
① 通常保育事業	定員	公立450人 私立237人	公立450人 私立247人	順調
② 延長保育促進事業	箇所数 利用者数	5カ所 100人	5カ所 延3,871人	順調
③ 一時保育事業	箇所数 利用者数	4カ所 40人	5カ所 延148人	順調
④ 障害児保育事業	箇所数	公立4カ所 私立4カ所	公立4カ所 私立5カ所	順調
⑤ 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)	箇所数 定員	6カ所 330人	7カ所 345人	順調
⑥ ファミリー・サポート・センター事業	箇所数 定員	1カ所 50人	平成24年12月に事業開始	やや遅れている
⑦ 地域子育て支援センター事業	箇所数	3カ所	4カ所	順調
⑧ 保育所整備事業	箇所数	3カ所	平成23年度に2カ所改修	順調
⑨ 子育て支援のネットワーク化	—	6カ所以上	平成18年度から実施	順調

後期実施計画の平成24年度の事業概要を報告しましたが、町では次世代育成支援対策地域協議会で、計画事業の実施状況を検証し、広く子育て家庭や関係機関の意見を反映させながら、平成22年度から26年度を計画期間とする「後期実施計画」に基づき、事業の推進に努めていきます。

問い合わせ／子育て支援課(☎581・2121内線21)へ。